

第8回
研修会

令和8年度宇治市乳幼児教育・保育協働研修通信

みんなで創ろう！『こどもまんなか』研修

令和8年8月28日(金)開催

テーマ 校内研究のすゝめ

今回の研修会は、普段の校内研修会の雰囲気そのまま体験していただくために人数を絞って参加者を募集しました。

参加者内訳：幼稚園1名・認定こども園2名・小学校1名

実践報告のテーマ

学級・学年集団づくりのための取り組みの紹介

実践報告①

宇治市立岡屋小学校 4年生担任

4年生担任の二人の先生からは、子どもたちの興味をふくらませ、やってみたくなる単元の導入の工夫や、トークタイムをスモールステップで、ゲーム性を導入するなどしながら、「できた」の体験を少しずつ重ね、楽しい時間になってきたとの報告がありました。

フリートークでは、「私の探究」と題してそれぞれの先生方の視点で、4年生に見られがちな姿から心の内側を探ることや、先生自身が好きなアーティストの楽曲を探究することから子どもたちの探究学習との関連を見出すなど、深掘り分析したことが紹介されました。



参加者の心に残ったこと

挨拶や相談など色々なことを分析され、一つ一つ子どもたちのことを知ろうとされていることが分かりました。なぜトラブルが多いのか…と、困ったことだけで終わらせるのではなく、成長発達と絡めながら、学習を進められていることがよく伝わりました。

図工の実践で、教師が指導しすぎず、子どもの主体性に任せるために、見本を見せたり用意したりすることの大切さを感じました。「9・10歳〇〇しがち」の探究は、一人ひとりの児童理解の大切なことだと思いました。保幼小連携の大切なところと通ずるものがあると思いました。





実践報告②

宇治市立岡屋小学校 6年生担任

6年生担任の二人の先生からは、子どもたちの対話を引き出しつなげるツールとして段ボール製の円卓や様々な思考ツールを用いることで、自分と相手の考えを比較しながら話し合い活動がより円滑になったことや、企業とのコラボ企画を総合で取り組む中で、子どもたちの気持ちを盛り上げる提示の工夫から、子どもたちが主体的に取り組んでいる途上の報告がありました。

フリートークでは、今の6年生が1年生の時にも担任として関わっていた時からの子どもたちの変容や成長について、また保護者対応についてなど、これまでの経験を踏まえ校内に広めたいことの紹介がありました。



参加者の心に残ったこと

企業とのコラボスイーツを総合の時間の授業でされていること。教科書だけに頼らず、子どもたちの「面白そう!」「やってみたい!」をくすぐるきっかけ作りが素敵でした。

先生が、実態をしっかり把握した上で、企業とのコラボなど、成長の機会を掴み取ってきて、それを子どもたちの主体性が発揮されるような形で進めておられるのが、印象的でした。様々なまとめ方(チャート)があるのも、自身の学びになりました。

意見交流

「支え合い・高め合う」協働的な関係が築ける校(園)内研究のあり方について



「私の探究」(フリートーク)を取り入れたことで、先生たちのトーク力が上がったという言葉がありました、説得力がありました。

先生方がお忙しい中で、プレゼン資料を作られ、準備されている意欲!!

校長先生や教務主任、研究主任の先生方から、岡屋小学校での校内研究会がどのような経緯で現在の形になってきたかなどの説明を聞き、参加者が校内研究会を体験して得た気づきなど意見を交流しました。

参加者の心に残ったこと 自校(園)で活かしたいこと



校内研究を研究授業か実践発表か選べることで、前向きに実践発表ができるのが良いと思いました。

一人ひとりのやりたいこと、思いなどを、子どもだけでなく職員も出せる雰囲気を作りたいです。

